

2019年(平成31年)2月28日(木)

建設通信新聞 掲載

発行元:株式会社 日刊建設通信新聞社

UAVで診断、積算

防水工事で 新潟県内初 生産性、安全性向上

茂興業

茂興業(新潟市、高橋英樹社長)は、UAV(無人航空機)を使った屋上・屋根の劣化度診断と、3次元画像に基づく積算業務を開始する。防水、外壁改修工事業にとって新潟県内初の試みで、全国的にも先進的な取り組みとなる。担い手不足を背景に生産性と安全性の向上が求められる中、最新技術を導入して課題解消への道筋をつけながら、顧客サービスをより一層高めたい考えだ。

アトミクスが開発した「アトムサーベイシステム(ドローンによる次世代調査・積算システム)」を採用する。

概要によると、UAVで対象物件の屋上、屋根のさびや腐食などの現状を撮影する専用ソフトでその画像を解

析、処理することで、3次元データへの変換、施工面積などの積算情報が作成される。カラーシミュレーションによる竣工イメージなども合わせて提案できる。

空撮から報告書、見積書の作成までに掛かる時間は3〜4時間(金属屋根1000平方メートルの場合)。これまでは調査員がはしごやタラップなどを使用して屋上に上がり、診断、実測していたことから、

省力化だけでなく、作業上の安全確保にも大きく寄与する。対象物件によっては足場の仮設が必要なため、コスト縮減も期待される。

高橋社長は、同システムを円滑に運用していくため、「ドローン普及協会の操縦者養成講座を修了した社員2人



を配属し、既に体制を整えている」ことを明かす。また「実績はまだないが、引き合いは多くきている」とし、建築設計事務所や施工業者、マンション管理組合などに引き続きPRしていく考えだ。

26日には新潟市内で説明会を開催し、建築設計事務所の担当者ら約50人が参加した。写真。